

LOG OF THE CRUISE



グランド北海道周遊と知床クルージング・サハリン
ダイヤモンド・プリンセス — 2016年5月30日から6月10日まで



In command

トッド・マックベイン 船長

トッド・マクベイン船長はカナダのアルバータ州で育ちました。現在はブリティッシュコロンビア州に在住しています。10代でカナダ海軍に入隊し、彼にとって初めての海と船に魅せられました。その後海軍の駆逐艦で働き、商船のタンカーや貨物船に従事しました。この経験が、客船でのキャリアを目指すきっかけとなりました。

客船では、デッキ訓練生から経験を積み、オフィサーのランクに昇格し、2007年に船長になりました。それ以降、プリンセスのいくつかの客船で指揮を執っています。

クルーズ要約

港	距離(海里)
神戸から函館	791
函館から室蘭	77
室蘭から釧路	191
釧路から知床半島(クルージング)	259
知床半島(クルージング) からコルサコフ	174
コルサコフから小樽	231
小樽から青森	232
青森から神戸	832

神戸から神戸までの総航海距離

2,787 海里 (NM) = 3,205 ランド・マイル (M) = 5,156 キロメートル (km)

1 海里 (NM) = 1.15 ランド・マイル (M) = 1.85キロメートル(km)



以下は、ナビゲーションブリッジにて当直のオフィサーが記録した航海日誌より抜粋したものです。

神戸 – 2016年5月30日 (月)

午後、乗客の皆様と乗務員全員が乗船し、地元当局より許可が下りてから、ダイヤモンド・プリンセスは係船索を取り外して停泊地から出港し、大阪湾を出ました。その後、最初の寄港地函館へ向けて北東へ進路を定め航行しました。

天候: 本曇り/雨
気温: 22.0°C / 72°F
気圧: 1012.0 mbs
風力: 南西 風力 3
風浪階級: さざ波がある

終日航海日 – 2016年5月31日 (火)

夜間、ダイヤモンド・プリンセスは引き続き日本の沿岸に沿い北東へ進路を定め航行いたしました。午前9時頃、千葉県房総半島の最南端に立つ野島埼灯台を左舷側に通過いたしました。野島埼灯台は、フランス人技師レオンス・ヴェルニーにより設計、建設されました。この灯台は、東京湾の反対側にある観音埼灯台に次いで日本で2番目に古い西洋式の灯台です。

野島埼灯台を通過後、函館へ向けて北北東へ進路を定め航行いたしました。

正午位置: 緯度: 35°01.0' N ・ 経度: 140°34.6' E
天候: 本曇り
気温: 20.0°C / 68°F
気圧: 1010.0 mbs
風力: 北東 風力 4
風浪階級: やや波がある
コース: 048°
平均速度: 19.6 ノット

函館 – 2016年6月1日 (水)

夜間、ダイヤモンド・プリンセスは引き続き日本の沿岸に沿い北東へ進み、朝、函館港へ向けて津軽海峡に入りました。津軽海峡は、本州の北沿岸と北海道の南沿岸を分けており、日本海と太平洋を繋いでいます。水先人が乗船後、防波堤を通過し港へ入り、港町埠頭へ接岸致しました。深夜12時過ぎ、港を出てから水先人が下船しました。函館湾を南に進み津軽海峡を通過後、次の寄港地、室蘭へ向けて東へ進路を定め航行致しました。

天候: ところにより曇り
気温: 16.0°C / 61°F
気圧: 996.0 mbs
風力: 西北西 風力 5
風浪階級: さざ波がある

室蘭 – 2016年6月2日 (木)

夜間、津軽海峡を通過後、ダイヤモンド・プリンセスは、次の寄港地室蘭へ向け初めは東へ、その後北東へ向け進路を定めしました。室蘭市は胆振総合振興局の所在地です。早朝、水先人が乗船し、指定された停泊地へ接岸の態勢に入りました。

午後、お客様と乗務員全員が乗船し、地元当局より出港許可が下りてから、ダイヤモンド・プリンセスは係船索を取り外し、出港しました。水先人が下船後、釧路へ向けて東へ進路を定め航行しました。

天候: ところにより曇り
気温: 13.0°C / 55°F
気圧: 1004.0 mbs
風力: 北西 風力 5
風浪階級: 小波がある

釧路 – 2016年6月3日 (金)

午後7時頃、ダイヤモンド・プリンセスは襟裳岬灯台を左舷側に通過後、北海道東部で一番人口の多い釧路へ向けて北東へ進路を定めしました。

午後、乗客の皆様と乗組員全員が乗船し、地元当局より出港許可が下りてから係船索を取り外し、出港しました。水先人が下船後、知床半島へ向けて東へ進路を定めしました。

天候: ところにより曇り
気温: 9.0°C / 48 °F
気圧: 1007.0 mbs
風力: 南南西 風力 3
風浪階級: 小波がある

知床半島 (クルージング) – 2016年6月4日 (土)

夜間、ダイヤモンド・プリンセスは引き続き知床半島へ向けて北東へ進路を定めしました。午後、知床半島に到着し、シーニック・クルージングを始めました。知床半島は、海水ができる北半球で最南端の場所に位置する等の理由から、2005年にユネスコ世界遺産に登録されました。

午後5時頃、ダイヤモンド・プリンセスは、知床半島からコルサコフへ向け北西へ進路を定め航行しました。

正午位置: 緯度: 45°01.0' N ・ 経度: 146°49.0' E
天候: 本曇り
気温: 3.0°C / 37°F
気圧: 1009.0 mbs
風力: 北西 風力 5
風浪階級: やや波がある
コース: 234°
平均速度: 21.0 ノット



コルサコフー 2016年6月5日(日)

早朝、水先人が乗船後、ダイヤモンド・プリンセスはコルサコフの港へ停泊の態勢に入り、港域に錨を下ろしました。テンダーボート(小型ボート)サービスを一日を通してご利用頂きました。

夜、錨が引き上げられてから、次の寄港地小樽へ向けて南南西へ進みました。その後、ダイヤモンド・プリンセスは、クリルオン岬を右舷側に通過しました。TSS(往復航行分離方式)から出た後、利尻水道へ向け南西へ進路を定め航行しました。

正午位置: 緯度: 46°37.3' N・経度: 142°44.0' E

天候: 晴れ

気温: 7.0°C / 45°F

気圧: 1012.0 mbs

風力: 南南東 風力 4

風浪階級: やや波がある

小樽ー 2016年6月6日(月)

深夜12時過ぎ、ダイヤモンド・プリンセスは天売島から14海里のところを左舷側に通過し、引き続き小樽へ向けて南へ進みました。朝、水先人の助けを借りて防波堤の間を通過し、勝内埠頭へ向け接岸の態勢に入りました。

夜、乗客の皆様と乗務員全員が乗船後、出港しました。その後、水先人が下船し、青森へ向けて北西へ進路を定めました。積丹岬の真横を左舷側に通過後、ダイヤモンド・プリンセスは南西へ進路を変更いたしました。

天候: ところにより曇り

気温: 16.0°C / 61°F

気圧: 1017.0 mbs

風力: 北東 風力 2

風浪階級: 小波がある

青森ー 2016年6月7日(火)

青森の水先人乗船場所へ到着する1時間程前に、ダイヤモンド・プリンセスは、青森湾へと続く10マイル程の長さの平館海峡に入りました。水先人が乗船後、停泊地へ接岸の態勢に入りました。夜、乗客の皆様と乗務員全員が乗船後、係船索を取り外し、来た航路を辿り青森湾を後にして、津軽海峡に入りました。その後、神戸へ向けて航行しました。

天候: 晴れ

気温: 18.0°C / 64°F

気圧: 1013.0 mbs

風力: 北 風力 3

風浪階級: 小波がある

終日航海日ー 2016年6月8日(水)

津軽海峡を通過後、ダイヤモンド・プリンセスは、南東へ向け進みました。朝、本船は右舷側へ進路を変更し、本州の東沿岸に沿って南西へ航行しました。

Radar(レーダー)はRadio Detection and Ranging(電波探知測距)の頭文字です。これは、電磁エネルギーを発射し、伝達された物の反射を受けることによって間隔をとり、物の幅と方向を決定するシステムです。海でのレーダーの主な目的は、衝突の回避、視界の悪い場所、そして、沿岸に近い場所での誘導の為に使用します。ダイヤモンド・プリンセスは5台のレーダーを設置していません。3台は主なマストに、1台は前方、もう1台は後方にあります。

正午位置: 緯度: 38°57.0' N・経度: 142°14.0' E

天候: 晴れ

気温: 16.0°C / 61°F

気圧: 1013.0 mbs

風力: 南 風力 5

風浪階級: やや波がある

コース: 168°

平均速度: 18.0 ノット

終日航海日ー 2016年6月9日(木)

一日を通して、ダイヤモンド・プリンセスは日本の沿岸に沿って航行し、南西の進路を維持いたしました。午後9時頃、神戸へ向け右舷側へ進路を変更し、黒潮を通過しました。

黒潮は、北太平洋の西側に北に流れる海流です。北太平洋旋廻の一部でもあるメキシコ湾流と似ており、また、強い西岸境界流です。

正午位置: 緯度: 34°02.9' N・経度: 137°52.0' E

天候: 本曇り

気温: 21.0°C / 70°F

気圧: 1010.2 mbs

風力: 北東 風力 4

風浪階級: やや波がある

コース: 242°

平均速度: 14.4 ノット

神戸ー 2016年6月10日(金)

午前2時30分頃*、大阪湾へ入る為ハーバーパイロットが乗船いたします。本船は、北へ進路を維持し、TSS(往復航行分離方式)を通過して大阪湾へ入ります。その後、神戸の停泊地へ向けて北東へ進路を変更いたします。

*記載時推定



ダイヤモンド・プリンセス

運航: プリンセス・クルーズ

船籍: ロンドン U.K.

総トン数: 115,875 トン

純トン数: 77,745 トン

喫水: 8.572m - 28 ft.

全長: 288.33m - 946 ft.

全幅: 37.50m - 123 ft.

造船所: 三菱重工業株式会社

長崎造船所 & マチネリーワークス

起工: 2002年 3月2日

完成: 2004年 2月26日

船級協会: ロイドレジスター

乗客定員数: 3,100名

乗組定員数: 1,060名

ブリッジコマンドとコントロールチーム

船長	トッド・マックベイン	キャプテン・イン・コマンド
副船長	ジュゼッペ・カステラーノ	セカンド・イン・コマンド、デッキデパートメント長
首席一等航海士	ラファエル・ディ・マルティーノ	船のセーフティーオフィサー
一等航海士	ルカ・コンザト	シニアウォッチオフィサー (ナビゲーター)
首席二等航海士	デービッド・デントン・カデュー	シニアウォッチオフィサー
二等航海士	ティホミル・ネディアルコフ	シニアウォッチオフィサー
三等航海士	フランチェスコ・ロシエロ	ウォッチオフィサー (ログオーサー)
三等航海士	サム・クリフォード	ウォッチオフィサー
三等航海士	アダム・ワディントン	ウォッチオフィサー
デッキ訓練生	ウォルター・サントロ	トレーニング・オフィサー

1日24時間ブリッジ (操舵室) に 2人のオフィサーが 常駐しており、4時間勤務し8時間の休憩をとります。

0000-0400 - 0400-0800 - 0800-1200 - 1200-1600 - 1600-2000 - 2000-2400

ブリッジからお別れのメッセージ

このたびはダイヤモンド・プリンセスにご乗船いただき、誠にありがとうございます。皆様に楽しんで、またリフレッシュしていただけた休日であることを願っております。明日はお気をつけてお帰りくださいますようお願いいたします。私キャプテンを含む、乗務員一同皆様のまたのご乗船をお待ちしております。

トッド・マックベイン 船長/ブリッジチーム (操舵室)